

5年生 稲刈りを行いました

10月30日(木)に5年生が稲刈りを行いました。6月に田植えを行ってから約4か月、立派な稲穂に育ちました。子どもたちは、地域の方々から、稲の刈り方を教えてもらい、一人ひとり鎌を持って、稲を刈りました。

はじめ刈ることにてこずっていた子どもたちですが、慣れてくると、どんどん上手に刈っていきました。刈り取った稲は、コンバインで脱穀してもらいました。



【稲刈りの様子】



このように、立派な稲が育つことができたのは、地域の方々、水の管理など【給食のお知らせ板】のお世話をさせていただいたおかげです。本当にありがとうございました。

稲刈り後、乾燥、精米していただき、200kgを超えるお米ができました。このお米を、11月8日に行われた「リバティフェスタ」で1袋2kg、合計95袋を販売したところ、あっという間に完売しました。

また、11月11日の給食のご飯にも使用しました。全校のみなさんでおいしくいただくことができました。5年生のみなさん、ありがとうございました。

人権を考える日の取組

10月31日(金)に人権を考える日の取組を実施しました。人権を考える日は、自分や友達を大切にできているか、みんなが安心して生活することができるか、私たち教師も、集団や自分の実践を見直す日です。

各学級で、子どもたちに考えさせたい教材を使って、自分や友達との関わり方や、ものごとを正しく知ることの大切さ等を考えました。

1年生では、【そんなこといわないで】の教材を使って、人を傷つける言動のおかしさに気づき、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを学びました。

2年生では、【ちがうこと おなじこと】の教材を通して、見た目は違っても、喜んだり悲しんだりする心をもっていることは、世界共通であることに気づき、相手の心を思いやった言葉かけをすることの大切さを話し合いました。

3年生では、【いつもぼくだけ】の教材を使って、決めつけた見方によって相手のことを正しく知ろうとしないおかしさに気づき、自分自身の友達に対する見方を振り返りました。

4年生では、【みえるとか みえないとか】の教材から、自分と違う特性をもつ人の立場になって想像することを通して、ちがいを認め、尊重し合うことの大切さを話し合いました。

5年生では、【どうして学校にきてはいけないのですか】の教材から、ハンセン病に対する差別について考え、正しく学ぶことで、差別をなくしていこうとする自分たちの言動を見つめ直していきました。

6年生では、社会科【新しい文化と学問】の学習で、「解体新書」に携わった杉田玄白の立場から、差別を受けていた人々に対する周りの考え方を想像し、周りに流されず正しく知ることについて考えていきました。この日だけの取組ではなく、日々の教育実践に生かしていきます。

～おごおりっ子からのメッセージ 堂々とした発表でした～

11月1日(土)に、小郡市文化会館大ホールで「おごおりっ子からのメッセージ」が開催され、市内の小・中・高校生が、毎日の生活で感じていること、日々の学習から考えたことを主張しました。

本校からは、6年生の さんが学校の代表として、「人とつながること」と題して、人とつながるために大切なこととして、「あいさつができるようになること」と「地域の行事に積極的に参加すること」を呼びかけました。自分の考えや体験を通して感じたことを堂々と主張し、会場から多くの拍手が送られました。

教育実習でたくさん学びました

10月15日～11月13日の四週間、 さんが先生になるための教育実習を行いました。5年2組の先生から直接指導を受けながら、各教科等の学習指導や生徒指導、学級経営などについて学びました。

国語や算数の授業づくりに取り組みました。最後の算数の授業では、タブレットを使って、三角形の面積を求める授業を行いました。笑顔で、落ち着いて授業を進める様子が見られました。

この教育実習で、子どもたちとの関係を深め、授業づくりの楽しさや難しさを学んでくれたと思います。教師の夢に向かって、がんばってくれることを期待しています。

人権の花運動の感謝状贈呈式、風船飛ばし

11月6日(木)、3年生が「人権の花」ひまわりの栽培活動を行い、人権の尊さを学んだことに対して、久留米地域人権啓発活動ネットワーク協議会から、感謝状と記念品をいただきました。

感謝状贈呈式では、副市長様から、感謝状を校長へ、記念品を代表児童へ贈呈されました。

3年生の代表児童が、お礼の言葉として、ひまわりを育てたことを通して、協力することの大切さや思いやりの気持ちを学んだこと、できたひまわりの種を、風船に付けて飛ばすことへの期待などを発表しました。

そのあと、3年生児童一人ひとりに、エコ風船が手渡され、ひまわりの種を入れたメッセージ封筒を風船に結びつけました。カウントダウンをして、一斉に風船を大空に向け飛ばしました。天気もよく、80個を超える風船が大空高く舞い上がり、子どもたちは大喜びでした。

こうやって、ひまわりの種とメッセージが人と人をつなぐ架け橋になってくれることを祈っています。

